



33号

平成30年2月発行

発行元

浄土真宗本願寺派 善称寺
〒640・8033
和歌山市本町5丁目32
☎073・422・0473
http://zensho-ji.com
火曜日定休



昨年末、近くのお寺の坊主さんがせくなられ、その葬儀に導師としてお参りさせて頂いた。だくご縁がありました。そのお寺は昔ながらの本場に誠実な運営をされておられ、檀家さんとお寺とが今でもしっかりと信賴で結ばれているお寺です。前日に打合せに伺った際にも、言報を聞いた檀家さまが次から次へとお参りに来られていました。

生前のエピソードなどを紹介される中で、故人がたくさんの方々のおかげで幸せだったというお話がありました。「結局のところ人間は、誰の世話にもならずには生きていくことはできない。そのことを故人が身を持って教えてくれた気がします。」とのことでした。

思えば、私は日ごろたくさんのお墓の相談を受ける中で、相談者さんから「子供に負担をかけたくない」という言葉です。ですから、その要望に少しでも応えることができるお墓で、永代供養墓になりました。結果、多くの方がご縁をくださりありがたいことでした。しかし、その住職が言われるように、本当に誰にも世話にならずに生きていくことはできません。それにお墓やお寺が「負担」であるというのは悲しい現実です。今後は負担を「仕組み」で解決するだけでなく、この時代の人間関係、親子関係について仏教はどう答えていくべきなのか、真に聞いていく必要があるのか、もしもありません。さて、ごらんのように今号より善称寺だよりが一新しましたね。今回から紙面の編集は専門の方にお願いしました。み教えを伝えるにしても、善称寺だよりだけで頑張るのではなく、「本願寺新報」などの出版物をお借りし、宗門のネットワークをもっと生かしていく方針です。今後とも「善称寺だより」をどうぞよろしくお願いいたします。

墓地の通足路にタチツボスミを植えています。いん前コケを植えましたが、鳥にやられて失いました。



浄土真宗のご本尊(仏さま)は阿弥陀如来さまです。阿弥陀如来さまは、煩惱(自己中心的なとらわれ)を捨てなさい、という仏さまではあります。どこまでも煩惱を捨てることができない私を、智慧と慈悲で包み込み、「必ず救う」と誓われた仏さまです。この阿弥陀如来さまのおはたらきに、煩惱のままこの身をおまかせし、いただいた命を精いっぱい



「ご本尊は 阿弥陀如来さま」



藤井家のみなさんと(和歌山市有本)
昭和36年、祖父が往生した時に購入したお仏壇。仏壇に向かうと祖父、父・母、叔父を看取った時の記憶が浮かびますので、あまり仏壇の前には座りたくないのです。しかし、祖父母や父母がいての私ですから、今、私がここにいる。その不思議さを感じ、生きていることに思いを馳せることができます。藤井健太郎

高木シズ子さんと(和歌山市梅原)
ご主人がご往生された後に、家方家で大阪の仏壇店にいき、もめたお仏壇。あれからもう23年がたちます。

生きていくというのが、お念仏(南無阿弥陀仏)のみ教えです。私たちのお念仏は、「必ず救う」という阿弥陀さまのご本願(誓い)に、対して「ありがたい、おまかせしました」という感謝の気持ちでお



平成30年 3月18日(日)
■ 11時の部
■ 14時の部
■ 16時の部

参加希望の方は、当日までに参加人数と希望時間をお知らせください。

春彼岸
合同法要のお知らせ



遠方にお住まいでお墓参りができない方、近くにお住まいでも体調などの理由でお墓参りができない方へ。あなたに代わってお花屋さんがお墓参りをしてくれます。

内容は供花、お墓の掃除、お線香あげです。なんといってもプロのセンスで生けてくれるお花がとっても素敵なんです。ぜひお気軽にご利用ください。ご希望の方は、3月19日(月)までにふじわらさんにお電話してください。

春彼岸の予約は3月19日(月)まで

料金は1回3,700円です
お支払いは銀行振込となります
詳しくはお電話でお問い合わせ下さい

ふじわら生花店
☎090・9870・8178